



- ◇成人の祝い ◇第15回塙保己一賞表彰式
- ◇本庄早稲田の杜ミュージアム地域連携展
- ◇研究委嘱校研究発表会 ◇小学校の芝生化完了
- ◇トルコ献立給食 ◇図書館芸芸講演会
- ◇市民元旦マラソン ◇本庄市スポーツ少年団紹介

市教委だより

編集・発行：本庄市教育委員会

令和3年度

本庄市成人の祝い

ハタチカラ
～これから踏み出す新たな一歩～



1月9日(日)に成人の祝いが行われました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、午前・午後の2回に分けて開催しました。

今年度のテーマ「ハタチカラ～これから踏み出す新たな一歩～」は、今までとは違う視点を持ち、これから歩いていくことになる、自分が主役である人生を充実して歩んでほしいという気持ちを込めて実行委員会のみんで決めました。

それぞれの新成人が、夢や思いを胸に、大人としての新たな一歩を踏み出しました。



塙保己一没後200周年記念大会

第15回 塙保己一賞

第15回塙保己一賞を令和3年12月18日(土)に開催しました。塙保己一没後200周年を記念し、表彰式に合わせたイベントとして、東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏による講演、ゴールボールパラアスリートによる実技・トーク、渋沢栄一アンドロイドトークイベント、群読劇「塙保己一物語公演」を行いました。



第15回塙保己一賞授賞式の様子

塙保己一賞奨励賞を受賞したパラアスリートの小久保寛太氏



本庄早稲田の杜ミュージアム

//// //// 縄文の謎に迫る！ //// ////

本庄早稲田の杜ミュージアムでは、縄文時代をテーマとする展示を3月27日(日)まで開催しています。高さ70cmを超える大きなものから約20cmの小さなものまで、たくさんの縄文土器を展示しています。

縄文土器を観察してみよう！

みなさんは、縄文土器の表面をじっくり観察したことがありますか？観察するといろいろな図柄ずがらがつけられています。その図柄のことを文様もんようといいます。

この文様はどうやってつけたのかな？

縄文土器の文様はいろいろな方法でつけられたことが、これまでの研究で分かっています。



その方法の一つが縄を利用したものです。植物のクキや皮を使い、編んで縄にし、土器の表面に転がしてつけていました。



▲ 児玉町共栄の新宮遺跡しんぐうから出土した高さ70cmを超える巨大な縄文土器



土器には、それぞれ作られた場所や時期などによって、いろいろな文様があります。本庄早稲田の杜ミュージアムでは、たくさんの土器を展示していますので、本物をじっくり観察してみてください。

本庄早稲田の杜地域連携展覧会 旧石器・縄文時代の児玉・深谷地域

展覧会では、主に発掘調査によって出土した資料を出品し、児玉・深谷地域における旧石器・縄文時代の人々の生活と文化を紹介しています。

会期 3月27日(日)まで
時間 午前9時～午後4時30分
※月曜日休館（休日の場合は翌日）
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室（ミュージアム2階）
入館料 無料
電話 71-6878



ミニ企画展 本庄市の遺跡 令和3年度最新出土品展

注意：会場はミュージアムではありません。

本庄市には、文化財が地中に埋まっている場所が500箇所以上あり、毎年発掘調査を行っています。最新出土品展では、市内で実施された発掘調査の成果をいち早く公開しています。

児玉町金屋にある高柳原遺跡D地点から見つかったタテ16mm厚さ5mmのまが玉



会期 3月25日(金)まで
時間 午前9時～午後4時30分
休室日 土曜日・日曜日・3月21日(祝)
会場 文化財整理室 文化財展示コーナー
児玉総合支所第2庁舎2階
(児玉町児玉385)

入室料 無料
電話 72-6841

めずらしいまが玉も発見！

令和3年度研究委嘱校 研究発表会

金屋小学校 ▶ 人権教育

研究主題：「一人一人を大切にされた教育活動の推進」

～思考を働かせ、確かな学力をはぐくむ授業の創造～

一人一人の児童が学びを実感できる指導方法を確立し、学び合いの中から互いを認め合い、自他を大切にしようとする心の育成を目指して取り組みました。人権感覚を育成するために人権教育上の視点を明確にした授業を行い、自尊感情やコミュニケーション能力の向上を図りました。人権に対する意識が高まり、学校全体が温かい空間になるとともに、お互いのよさを認め合い、助け合う児童が増えました。



▲金屋小学校の授業の様子

本庄東小学校 ▶ 学力向上

研究主題：「自らの学びを実感し、ともに学び合う児童の育成」

～教師主体の授業から児童の授業への転換・ICTの活用～

本庄型授業スタンダード※の研究をさらに深め、算数の授業の進め方を「ベーシック授業(習得・習熟中心)」と「チャレンジ授業(学び合い中心)」に明確に分けた授業改善に取り組みました。学校全体で、すべての教科・領域で学力向上研究に取り組むことで、児童の学習意欲が高まるとともに、主体的に学習に取り組む児童が増えました。

※本庄型授業スタンダードとは、児童・生徒自ら問題解決に取り組む学習へと

授業改善を進めるため、市内全小中学校が同一歩調で行っている授業の進め方です。



▲本庄東小学校の授業の様子

本庄南中学校 ▶ 体力向上

研究主題：「指導方法の改善と学習活動の工夫」

～生徒一人一人の主体的な学びの実現をめざして～

体育の授業では、「ほめて育てる」を基本方針とし、生徒が、わかる・できる喜びが味わえるよう体育授業の更なる充実に取り組みました。体育授業への意欲や、運動技能が向上する生徒が増えると同時に、健康促進のための掲示物の充実や、外部講師による食育指導を行うことで、体力向上に対する知識や意識が向上しました。



▲本庄南中学校の授業の様子

すべての小学校で芝生化を完了

令和3年6月25日(金)に本庄南小学校の5・6年生の手によって、校庭の芝生コーナーへの芝生苗の植え付けが行われました。今回の整備で市内小学校全校の芝生化が完了し、休み時間には、大切に植え付けをした芝生で子どもたちが楽しそうに遊んでいます。



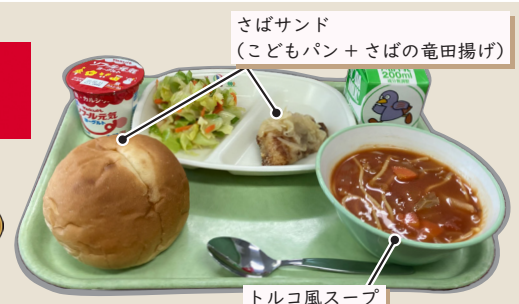
▲植え付けの様子(本庄南小)



▲芝生で遊ぶ様子(共和小)

子どもたちにトルコ献立給食を提供

本庄市はトルコ共和国のホストタウンです。東京2020大会終了後もホストタウンの交流の一環として、各学期に1回トルコ献立給食を提供しています。トルコ風スープ、さばの竜田揚げ玉ねぎマリネソース、子どもパン(さばサンド)など、栄養満点でおいしい給食が提供されました。



季節の催し物（図書館）

図書館本館では、昨年度開催を見送った文芸講演会を令和3年11月20日(土)に開催しました。今回は、塙保己一没後200周年記念事業と関連したものとして、塙保己一に関する書籍「世のため 後のため ものがたり塙保己一」の発行に携わった荒井一夫氏を講師に迎え、本の刊行にあたり、塙保己一の偉業や総検校という役割について分かりやすく紹介いただきました。当日は、入場者数を制限したため、この催しを多くの人に知っていただくとうと本庄ケーブルテレビの協力を得て、12月18日(日)に市民向けに放映も実施いたしました。



▲文芸講演会（講師：荒井一夫氏）



▲企画展の様子

これと合わせて、本館カウンター隣では企画展として、塙保己一の遺徳の品々や渋沢栄一との関わりを示す資料の展示を行い、見玉分館でも常設の塙保己一コーナーの様態替えを実施いたしました。

また例年、見玉分館で行っている「リサイクルフェア」は、三密を避けるため、入口脇にリサイクルコーナーを新たに設置して、古くなった雑誌など利用を終えた図書館資料の提供を行いました。

市民元旦マラソン

1月1日（土・祝）、第62回市民元旦マラソンが2年ぶりに開催されました。

当日は晴天に恵まれ、子どもから大人まで688人のランナーが、初日を浴びながら総合公園内の約2kmのコースをさわやかに駆け抜けました。毎回恒例の福袋も用意し、当選した参加者に配布しました。



▲スタートの様子



▲ゴールの様子

スポーツ少年団紹介（体操）

子どもたちは日々、様々な刺激を受けて成長していきます。神経が発達する時期に多種多様な動きを行うことで、運動に関わる神経が通うようになります。

また、体操はバランス感覚や柔軟性などスポーツの基礎となる動きも含むことから、いろいろなスポーツ活動において技術の発展や、身体を思い通りに動かすことにより日々の生活の中でも怪我の防止など健康の維持が見込まれます。

団の活動では、それぞれが自分に合った目標を持ち達成、習得することで「できた！ やった！」という小さな成功の体験を積み重ね、心身ともに成長していくことを目指します。



団体名①：ジム・ヴィレッジ

対 象：市内全域（市外も可）

幼児～小学生（男女）

活動場所：北泉小・仁手小体育館

連絡先：内山（090-7153-8653）

団体名②：本庄ヴィジョン体創クラブ

対 象：市内全域（市外も可）

小中学生（男女）

活動場所：本庄南小・中央小体育館

連絡先：長沼（080-3092-0173）

